

注意点

論文を書く上で注意すべき点

- ・先輩の修士論文は「珠玉混合」。下手にまねしないように。
 - ・「本物の」学術論文を真似しなさい。
- ・「下のように」といって文中にいれた表や図を指し示さない。（相対指示はしない）
 - ・「図5のように」と具体的に明記する。（絶対指示）
- ・図や表は、ページをまたがないように。
 - ・スペースが空いてもよいので次のページに送るように。
 - ・絶対指示がしてあれば、図表の位置が少しくらい本文とずれても問題ない。
- ・自分で読み直して「わかりにくい」と思ったら、それは他人には理解不能と同じ。
 - ・くどいくらいわかりやすく書き直す。「わかりやすい」というのは、意図した意味以外に解釈のあいまいさがない、という状態を言う。
- ・カラーを使う必然性がないところでカラーを使わないように。
 - ・特にエクセルのグラフなど見た目が派手につくってあるので注意。画面上で見るのではなく、白黒で印刷したときにわかりやすく見えるようにする。（グラフの背景をグレーにしない！）
- ・「、」と「・」をちゃんと使い分けること。
- ・複数の修飾語句を使う場合、長いものから順におく。
 - ・『日本語の作文技術』参照！
- ・参考文献リストは、論文を「書く前に」一通り先に作っておく。
 - ・書きながら、一つずつチェック。
 - ・書き終わったときにも、全体をチェック。
- ・参考文献のスタイルの統一は「できてて当たり前」。それができてなければ、論文執筆以前。
- ・「分析はSPSS 13.0で行った」とか「分析はExcelで行った」などと、書かないように。分析の手法（分散分析とか回帰分析とか）が問題なのであって、使ったソフトは問題ではない。
 - ・非常に細かいテクニカルな点では、実は問題となるが、そこまでのことが問題となるようなことを扱うような人は、そもそもこんなふうには書かない。
 - ・もっと言えば、こんなふうを書く人は「私は統計のことはわかりません」ということを読み手に伝えていることになる。